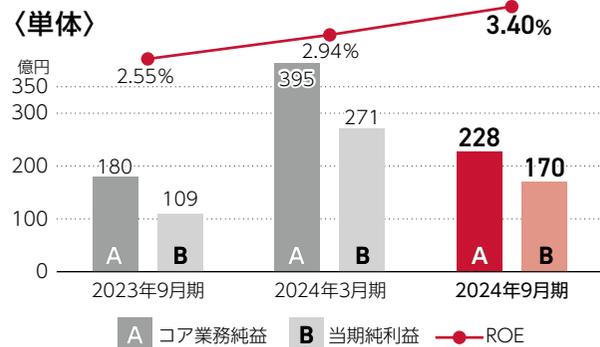


## 業績ハイライト



〈連結〉 2024年9月期

親会社株主に帰属する中間純利益

**195** 億円

前年同期比  
△69億円

預金

**94,453** 億円

前期末比  
+73億円

(うち長野県内店分 88,355億円)

貸出金

**65,331** 億円

前期末比  
△2,481億円

(うち長野県内店分 33,641億円)

有価証券評価損益

**5,305** 億円

前期末比  
△633億円

総自己資本比率(国際統一基準)

**20.28%**

前期末比  
△0.46%

詳しい内容につきましては、  
当行ホームページをご覧ください。



## 配当金について

「中期経営目標」において、2023年度から2025年度まで毎年度1株当たり年間配当目標額を20円以上と設定しております。

	中間配当金	期末配当金	年間配当金
2024年3月期(実績)	10円00銭	14円00銭	24円00銭 (過去最高)
2025年3月期(予想)	13円00銭	21円00銭	34円00銭

## 株式のご案内

- 証券コード 8359
- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月に開催いたします。
- 1単元の株式数 100株
- 基準日 定時株主総会:3月31日  
期末配当金:3月31日  
中間配当金:9月30日
- 公告方法 電子公告により当行ホームページに掲載いたします。  
公告掲載URL <https://www.82bank.co.jp/>  
(事故等やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、信濃毎日新聞及び日本経済新聞に掲載いたします。)

## 当行の概要

- 名称 株式会社八十二銀行
- 本店所在地 〒380-8682 長野市大字中御所字岡田178番地8
- 創立 1931年8月1日
- 拠点 国内 151店舗 本支店 142(長野県内122)  
出張所 9(長野県内 9)  
海外 3店舗 支店 1(シンガポール)  
駐在員事務所 2(上海・バンコク)
- 従業員数 3,352人
- 資本金 522億円
- 発行済株式数 513,767千株
- 総資産 12兆7,957億円
- 純資産 9,797億円 (2024年9月30日現在)

## 八十二銀行

2024年11月発行/編集:八十二銀行 企画部  
〒380-8682 長野市大字中御所字岡田178番地8 電話(026)227-1182  
<https://www.82bank.co.jp/>



The Hachijuni Bank, LTD.

2024.9  
八十二レポート

営業の中間ご報告



この印刷物は、環境に配慮した  
植物性インキを使用しています。



# 経営理念 健全経営を堅持し、もって地域社会の発展に寄与する

## 中期経営ビジョン2021への取組み

### 「金融×非金融×リレーション」でお客さまと地域を支援する

社会や産業構造が大きく変わろうとしています。当行はこの変化をチャンスと捉え、さらなる飛躍につなげるべく、中期経営ビジョン2021に取り組み、地域にとって真に必要なとされる銀行グループを目指していきます。

- テーマ1 経営の根幹としてのサステナビリティ 地域活力創造銀行として地域社会の持続的な発展を支援
- テーマ2 ライフサポートビジネスの深化 生涯取引銀行としてお客さまの暮らしをサポート
- テーマ3 総合金融サービス・機能の提供 企業経営をワンストップでサポート
- テーマ4 業務・組織のデジタル改革 業務効率化と新たなサービスを実現
- テーマ5 成長とやりがいを支える人事改革 職員一人ひとりの成長を後押し



### 当行専用の太陽光発電所を活用したオフサイトPPAの導入

脱炭素化をより推進する観点から、長野県内に新たに設置された当行専用の太陽光発電所による再生可能エネルギーを使用しています。今後も、地域特性を活かしたGXに取り組みます。



### 女性活躍推進への取組み

「次世代女性リーダー育成プログラム」を新設し、役員や部店長によるメンタリングや外部研修への派遣等を開始しました。新たな価値創造や組織力向上につなげるため、引続き職員一人ひとりの成長を後押ししていきます。



### 中期経営目標の変更 現行の温室効果ガス排出量目標を達成したため、新しい目標を設定しました。

項目	変更前	変更後
年間配当目標額		【変更なし】2023年度から2025年度まで毎年度1株当たりの年間配当目標額20円以上
温室効果ガス排出量 (Scope 1、2)	【達成済】当行(単体) 2030年度 2013年度比60%削減 2023年度 ネットゼロ	八十二グループ 2025年度ネットゼロ 2030年度 2019年度比80%削減
【新設】融資先の温室効果ガス排出量算定促進 (Scope 3 カテゴリー15)	—	2025年度 排出量把握先 450社 Scope 3 カテゴリー15 (2024年3月末基準)の40%に相当する450社の排出量を把握
【新設】再生可能エネルギー創出	—	2024年度から2030年度 —事業用再生可能エネルギー発電設備向けサステナブルファイナンス累計実行額 900億円 —ZEH水準及び太陽光発電設備付き住宅ローン・リフォームローン累計実行件数 10,000件

### 価値創造プロセス

当行は「八十二銀行の価値創造プロセス」を公表しました。価値創造プロセスは、当行がステークホルダーの皆様に対して創出する価値をIIRC「国際統合報告フレームワーク」(通称：オクトパスモデル)に基づき策定したものです。長野県の豊かな外部環境資本と当行がこれまで培ってきた内部環境資本を活用し、「DXによる従来ビジネスの変革」「事業ドメインの拡大」「組織人材改革」に取り組むことで、地域社会・お客さま、株主、従業員の「地域経済・地域社会の活性化と質的豊かさの実現」を目指します。



【統合報告書2024】  
P25-26  
「八十二銀行の価値創造プロセス」をご覧ください

## 競争から共創へ

2026年1月1日に八十二銀行と長野銀行が合併し、八十二長野銀行になります。当局許認可等を前提として合併する予定です。

### シンボルマーク



シンボルマークは安定・親しみを感じられる角を落とした三角形を用い、緑豊かな自然に包まれた信州の特徴と、地域に根差した八十二長野銀行の誠実さを表現しています。三角形が幾重にも重なって広がる様子には、行名に含まれる八十二銀行と長野銀行のイニシャルが含まれており、信州の山々の連なりを示すとともに、両行が合わさり、新たな領域を創り出していく様を表しています。

### ロゴタイプ

## 八十二長野銀行

ロゴタイプはシンボルマークが持つ安定感を、「八」を中心に反映し、八十二長野銀行が盤石な基盤の上に運営されていることを象徴しています。

### 銀行代理業

9月より八十二銀行と長野銀行間における銀行代理業を開始しました。合併前に契約内容の変更手続きが必要となる一部商品・サービスについて、銀行代理業を活用し、お客さまに円滑にお手続きいただけるよう努めていきます。

### 共同採用の実施

2025年度の新入行員を両行共同で採用し、10月には初の合同内定式を実施しました。

